

第9回 数学教育学会教員講習会案内

一般社団法人 数学教育学会

会長 岡本 久

研究運営部長 白石和夫

講習会開催の趣旨：

数学教育学会では、これまで幾多の算数・数学教育に関する研究を行い、研究成果を公にしてきました。現在では、学会誌の J-STAGE での公開も行っており、学会員でなくとも、本学会の最先端の研究成果に触れることが可能となりました。

そこで、非会員である全国の学校現場の先生方にも、その成果や具体的な教育内容をお知りいただき、日々の算数・数学の教育実践に活用していただくことを目的に講習会を開催する次第です。学会員の皆様も多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、本学会の学会員（正会員，学生会員）に入会されましたら，春季年会，夏季研究会，秋季例会などへの参加・発表も可能ですので，ご興味のある方は学会ホームページで入会方法を確認してください。

日時：2023年8月20日（日）14：00～16：00

方法：Zoom によるオンライン開催（後日，オンデマンド配信）

対象：学会員，学校園教員（非会員），教員養成課程学生（非会員）

内容：

- 14：00－15：30 講演「学校現場での教育研究の実践的方法について
—繰り下がりのある引き算を例に—」
京都教育大学名誉教授 守屋 誠司
- 15：30－16：00 意見交換・困りごと相談

講演内容：

目の前の児童・生徒が算数・数学につまずいている，ICT を使ったが教育利用で効果はあったのか，毎年校内研究を行っているが，教師用指導書を焼き写しているだけの授業もあり，校内研究の形骸化を感じているなどといった問題を抱えている教員は多いと思われます。教員は研究者でもあるといわれ，教材研究に時間を掛けながら，授業実践を行い，それをまとめて官・民の研究会で発表することを行ってきました。今日では学校現場が忙しくなり，日々の授業や雑務に追われ，じっくりと教材研究をする時間を取れなくなったことも確かです。しかし，目の前の子どもたちの学力を上げたいなどの諸課題を何とかしたいとの思いは変わらないでしょう。こういう場合に何を勉強して，どう研究すればよいのかについて，一緒に考えたいと思います。

具体的には，第1学年の2学期に学ぶ，「繰り下がりのある引き算」をとりあげ，日々の授業の中でどのように研究していったらよいのかをお話します。

参考文献

守屋誠司・長田紀美・丹洋一・詫摩京未, 「1年生の繰り下がりのある引き算の指導改善を目指した研究－事前調査の徹底と図表現の利用－」, 『数学教育学会誌』2017/Vol. 58/No. 1・2, 2017, 49-60
https://www.jstage.jst.go.jp/article/mesj/58/1-2/58_49/_pdf/-char/ja

講師略歴：

守屋誠司 (MORIYA, Seiji)

京都教育大学名誉教授, 前玉川大学教育学部教授, 元公立小学校・中学校教諭

山梨大学教育学部小学校教員養成課程修了

神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了 教育学修士

東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了 博士 (情報科学)

数学教育学会 正会員 (事務局長・会長代理), NPO スマイル桑の実 理事長

申し込み方法：

下記, URL にアクセスし申し込みを行ってください。申込終了後, 申込内容が返信されます。

<https://forms.gle/dqKKeHCTiEx79fis8>



申し込み締切日：2023年8月13日 (日)

参加方法：

Zoom によるオンライン参加を希望される場合, 事前に Zoom の URL 等をお送りいたしますので, そちらを用いて参加してください。

オンデマンド参加を希望される場合, 会の開催後に限定公開でアップします。後日, URL 等をお送りしますので, 公開期間内にご視聴ください。

学会ホームページ・入会等に関する各種問い合わせ先：

ホームページ <https://mes-j.or.jp/>

問い合わせ先 office@mes-j.or.jp